

授業の流れ	<p>パターン化された授業の流れ</p> <p>子どもの認識過程に合わせた授業の流れ</p> <p>(資料：『入国児童のための日本語教育』縫部義憲)</p>
	<p>こどもの認識成立の仮定「直観」→「概念」→「実践」</p> <div style="text-align: center;"> <div data-bbox="432 510 1114 551" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>直観 音声や文字の知覚と観察、聞くこと、読むこと</p> </div> <div data-bbox="722 551 911 674" style="text-align: center;">  </div> <div data-bbox="432 701 1058 741" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>概念 ことばを総合したり比べて関係を見出す</p> </div> <div data-bbox="722 741 911 864" style="text-align: center;">  </div> <div data-bbox="432 891 1353 978" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>実践 学習した項目を実際に使用したり、転移力をつける課題をしたり することで定着させる</p> </div> </div>

授業作り

- 1) 導入 あいさつ、ウォーミングアップ（帯授業など）、復習
- 2) 展開 新規学習事項について活動を通して理解する。練習する
 1. 知的好奇心をそそる導入をし「知りたい」と思わせる
 2. 既習の学習項目を新規の学習項目の中に組み込んで、それらの単語や構造を使う場面が特定のものに限られていないことを認識させる
- 3) まとめ 学習目標の振り返りと、宿題の提示

※児童の場合は、10分~15分おきに歌、ゲームなどで身体を動かす活動を入れ、集中力を保たせる。